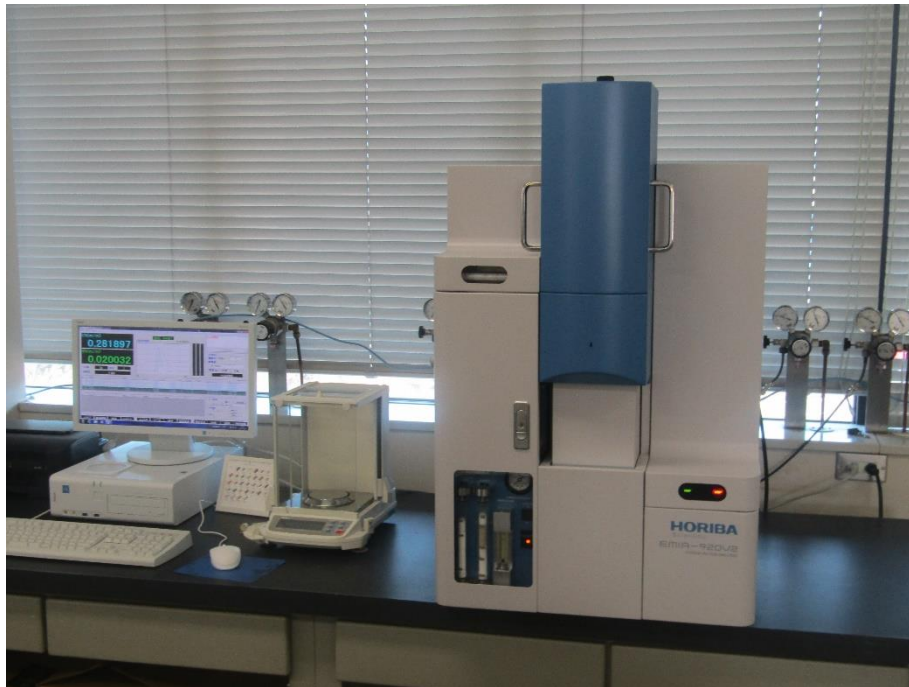


炭素硫黄同時分析装置

平成29年度機械振興補助事業

「公設工業試験研究所等の機械設備拡充補助事業」 ((公財) JKA)



性能及び仕様

製造所：株式会社 堀場製作所製

型式：EMIA-920V2

導入年度：平成29年度

仕様：

(1) 分析原理：酸素気流中高周波加熱燃焼
—赤外線吸収法

(2) 分析対象試料：鉄鋼・非鉄金属等固体試料

(3) 分析範囲：炭素 0% ~ 6%
：硫黄 0% ~ 1%

(4) 試料質量：標準1.0 g ± 0.1 g

(5) 分析時間：約40秒 ~ 60秒
(燃焼開始後)

用途：

酸素気流中で試料を高温に加熱し酸化させると、試料中の炭素(C)は二酸化炭素(CO₂)と一部が一酸化炭素(CO)になり、硫黄(S)は二酸化硫黄(SO₂)になります。本分析装置は、これらの生成したガスを酸素とともに赤外線検出器に送り、CO₂、CO、SO₂の赤外線吸収量を測定する装置です。炭素・硫黄含有既知の標準物質で作成した検量線により試料中の炭素・硫黄の濃度を求めます。